

《沖縄協同病院の理念》

- 患者様に信頼され、質の高い安全・安心な医療をめざします。
- 人権を尊重し、納得のいく説明と同意、情報開示を提供します。
- 地域と連携し、総合的な医療・福祉・介護の提供に努めます。

はいさい

沖縄協同病院・病院広報委員会

豊見城市字真玉橋 593 番地の 1

TEL.(098)850-7951

<http://oki-kyo.jp>

E-mail:okikyo02@crocus.ocn.ne.jp

発行責任者 西銘圭蔵

いよいよ開院

6月2日(火)より 外来診療開始



外来フロアー



正面入口



1F



全病床の3割が個室になりますが、室料はいただきません。



病室からの眺めは療養環境に最適です。



2F

事務室

医局

休診のお知らせ

引越しに伴う休診ですので、外来・救急診療全て休診です。

【休診日】

5月29日(金)～6月1日(月)

※5月28日(木)は夜間診療終了後20:00より休診

6月2日(火)は9:00までは休診です。

※6月2日(火)からの外来診療は新病院で行います。

院長の頭の中 その34

～今、医療従事者に求められるもの～

● 6月1日、新築になった沖縄協同病院が開院する。国場川兩岸の新・現病院とも「新しい革袋には新しい酒を入れる」のたとえ通り、管理部が替わるのでこのシリーズも今回でお別れになる。まとめとして、体験的組織論を述べてみたい。

● 安心安全

組織は、安心安全な業務遂行を常に第一に考える必要がある。とりわけ、医療機関では、技術の行使には細心の注意が必要である。

● コミュニケーション

患者のために医師、看護師、薬剤師、放射線/検査・技師、理学/作業/言語・療法士、栄養士、調理士、臨床工学技士、臨床心理士、精神保健福祉士、社会福祉士、事務など多様な職種が関わっている。それぞれが、直接、患者に関わると同時に、職種の協力連携が必須である。患者を含めたコミュニケーションなくして医療は効果を挙げえない。あたかも神経細胞が四通八達しているように。

● 同じ目標

組織は、理念で形成される。600人が理念を目印に働けば、多くの成果が生まれる。団結こそ、私たちの命である。

34回も「院長の頭の中」をお読み頂き、感謝申し上げます。

院長 西銘 圭蔵

沖縄協同病院 落成祝賀会

● **5月17日(日)午後1時～**

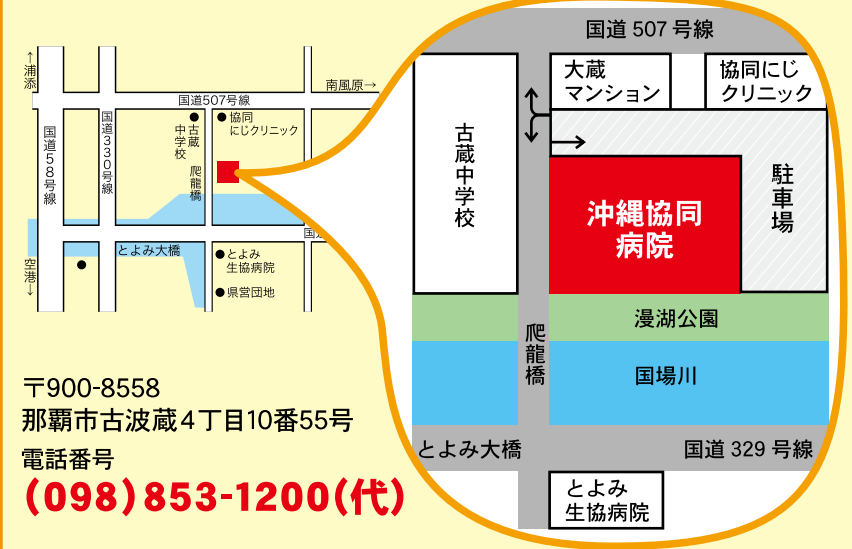
● **古蔵中学校体育館**

● **参加費 500円**

※参加チケットは、病院・診療所・介護事業所及び支部でお求めください。



新病院敷地見取り図



現病院の名称変更のお知らせ

沖縄協同病院の移転に伴い、現病院は
「とよみ生協病院」になります。

施設内容は下記の通りです。

①入院 一般病棟：37床
回復期リハビリ病棟：48床
合計 85床

②透析室

③健診室

④リハビリ外来

○ 居宅介護
支援事業所

※一般外来、救急外来
はございません。



ワンサイズダウンをめざす方と平静な心を得たい方へ

ダイエットウォーク&気功

★ダイエットウォークを取り入れたストレッチとウォークです。

【5月の日程】 **5月13日、27日(水)**



問い合わせ
総務課 金城(内線310)

場所: **リハビリ室**
時間: **18:30～20:00**

※途中参加、退出できますので、
お気軽にご参加ください。

5月・6月号は新病院開院特集号となっています。